

アフターサービス

●保証書

必ず販売店印及びお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。また、お客様にて改造または修理をされた商品に関してましては保証対象外となります。何卒ご了承ください。お客様にて修理された際の費用のご請求は一切お受けできません。

※通信販売などでお買い上げの場合は、販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

●修理をお申し付けされるとき

[保証期間中]

商品と保証書をお買い上げ店にご持参、ご提示の上で相談ください。保証書に記載されている保証修理規定に基づき、修理いたします。

[保証期間を経過しているとき]

お客様のご要望により有料で修理いたします。※往復送料はお客様負担となります。

●アフターサービスについてのご不明の場合

お買い上げの販売店または、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

補修用性能部品の生産終了後の保有期間は2年です。

カスタマーサポートセンター

WEB

弊社ウェブサイトにて製品情報及び製品サポート情報をご確認いただけます。

▶ <http://www.b-grow.com/support/>

▶ 阪和 カスタマーサポート

消耗品・部品のご注文

下記ウェブサイトにて消耗品及び部品のご注文を承っております。

▶ <http://www.b-grow.com/support/>

ご購入後のお問い合わせにつきましては、以下の項目をご確認のうえお問い合わせください。

- 品番 ■品名 ■お買い上げ日
- お買い上げ店名
- お問い合わせ内容

MAIL

受付時間外のお問い合わせはメールにて受け付けております。

▶ ss@b-grow.com

※ご返信は受付時間内での対応となります。予めご了承ください。

TEL

お電話でのお問い合わせはこちら

▶ 050-3505-7050

受付時間 10:00~17:00
(土日祝、弊社休業日を除く)

※時間帯により、電話が集中し、つながりにくい場合がございます。予めご了承ください。
※お電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにおかけください。
※電話番号・受付時間などについては、変更になる場合がございます。

発売元

株式会社 阪和

〒556-0016 大阪市浪速区元町3-11-16

専用取扱説明書

品番

BSS-70X

品名

Hügel (ヒューゲル)



《必ずお読みください!》

重 要

本製品は100%完成車ではございませんのでお客様に調整等をお願いすることがございます。

お手数をおかけすることがございますがあらかじめご容赦くださいませ。(組み立て、ギア・ブレーキの調整等、その他)

また初めての乗車の前や日々のご乗車の前には、日常のお手入れ欄に記載されている点検項目を、必ずチェックしていただきますようお願いいたします。

製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

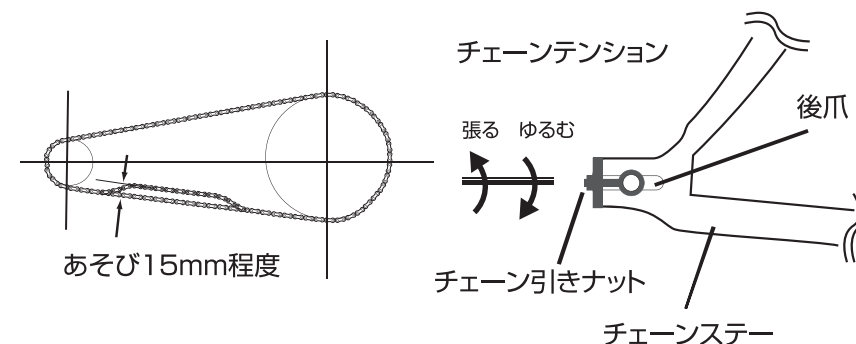
もくじ

注意、日常のお手入れ、警告	1 ページ
各部名称	2 ページ
ハンドルの組み立て	3 ページ
キャリパーブレーキの前輪タイヤの装着	4～5 ページ
ペダルの取り付け	6 ページ
サドルの差し込み、固定	7 ページ
トゥークリップのベルト固定及び調節方法	7 ページ
ブレーキの調整	8 ページ
シングルスピードバイクについて	9 ページ
ブルホーンドロップハンドルを装着している車種について	9 ページ
アフターサービス	10 ページ
カスタマーサポートセンター	10 ページ

シングルスピードバイクについて

警告 必ずお読みください

チェーン引きナットは後爪より取り外さないで下さい。
後輪の固定がはずれ、転倒やケガのおそれがあります。



調整の方法

- ①後輪ハブナットをゆるめます。
- ②チェーンステーと後輪の左右の間隔が均等になる位置でハブナットを仮じめします。
- ③チェーン引きナットを調整し、チェーンの遊びが10mm～15mmになるようにします。
- ④ハブナットをしっかりと締めこみます。左右のハブナットを交互に少しずつ締めつけ、後輪を確実に固定します。
締め付けトルク：25～35Nm (250～350 kgm/cm)
- ⑤調整ボルトを増し締めします。
調整ボルトがハブ軸に当たっている事を確認してください。締め付けトルク：1～1.25Nm (10～25 kgm/cm)

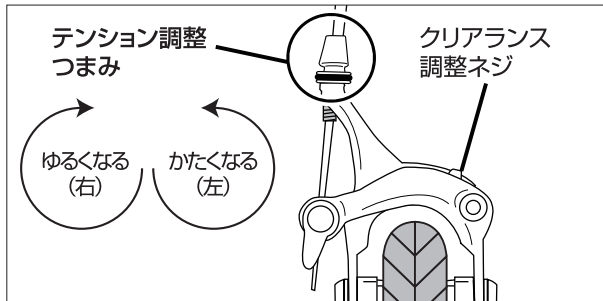
注意

チェーンを張りすぎるとチェーンとチェーンリングとの音鳴りの原因になります。
チェーンが緩いとチェーンがチェーンリングから外れる事があり大変危険です。

注意

ハブナットを片側だけ締め付けると車輪が車体の中心からずれ、チェーンの音鳴りやチェーンが外れるおそれがあり危険です。

ブレーキの調整(キャリパーブレーキ)



調整ネジで調整します。

調整ネジは「ブレーキ本体付近」に付いています。ブレーキを握り込んでもブレーキが効きにくい場合や、ブレーキが固い場合などに調整してください。

- ブレーキパッドと車輪の間隔が広い場合はテンション調整つまみを反時計回りに回して、ブレーキパッドと車輪の間隔を調整してください。(目安は3~4mmです)
- 片側のブレーキパッドしか車輪に当たっていない場合はクリアランス調整ネジを回して、左右のブレーキパッドの位置を調整してください。(時計回りに回すとブレーキパッドは右へ、反時計回りに回すと左に移動します)

ブレーキを握り込んでもブレーキが効きにくい場合

調整ネジ左に回し、ブレーキを固くしてください。
ブレーキレバーを握りながら固さを調整してください。

ブレーキが固い場合

調整ネジ右に回し、ブレーキをゆるめてください。
ブレーキレバーを握りながら固さを調整してください。

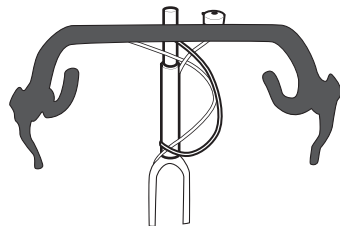
※調整ネジのしめすぎは
ブレーキワイヤーの破損の
原因となりますので注意し
てください。

ブルホーン・ドロップハンドルを装着している車種について

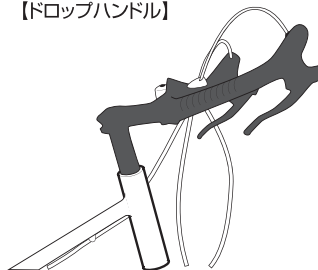
警告 必ずお読みください

ブルホーンハンドルやドロップハンドルの装着車種においてはハンドルと操縦管の取り付け部に大きな負荷がかかります。

また比較的前傾姿勢のポジションとなり操縦管とハンドルの固定部に負荷がかかります。操縦管とハンドルの固定がゆるい場合にはハンドルが下方向(地面側)に回転し思わぬ事故につながるおそれがあります。乗車前には必ずハンドルと操縦管が確実に固定されハンドルが上下に動かないことをご確認のうえ、ご使用ください。



【ドロップハンドル】



【ブルホーンハンドル】

《必ずお読みください!》

この説明書の項目を十分にご確認ください。
別紙取扱説明書には自転車点検リストが付いていますので日頃の点検、整備を行ない、安全走行をお願いいたします。

- ブレーキ等に関しましては、工場出荷時点で調整を行なっておりますが、輸送中の振動等により、お客様ご自身での調整が必要になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ハンドル、ペダル等は必ず乗車の前にしっかりと固定されているか確認してください。
- ブレーキの点検はご乗車前に必ず行なってください。

その他の事項につきましても必ず説明書をよくお読みください。

日常のお手入れ

自転車のご使用に際しては、日常のお手入れ・調整が必要になります。
ご乗車前には下記注意事項を参考に、各部の点検を行なってください。

●各部の点検

- ・ハンドルの固定
- ・ペダルの固定
- ・サドルの固定
- ・タイヤの空気
- ・ブレーキの効き具合
- ・ワイヤーロックの注油

●保管方法とお手入れ

- ・保管は水、雨のかからない場所で行なってください。
- ・場所の確保が困難な場合は、カバーを使用するなどしてなるべく水分を避けてください。
- ・自転車を濡れたまま放置いたしますと、サビ、劣化の原因となります。水分を拭き取るなどして保管してください。
- ・チェーンには定期的に注油を行なってください。
- ・なお、リムやペダルの固定部分等には潤滑油の類は注油しないでください。部品の脱落、事故の原因となります。

警告

日常の点検を怠りますと、思わぬ事故につながる可能性があります。
乗車前点検や日々のメンテナンスは必ず十分に行なってください。

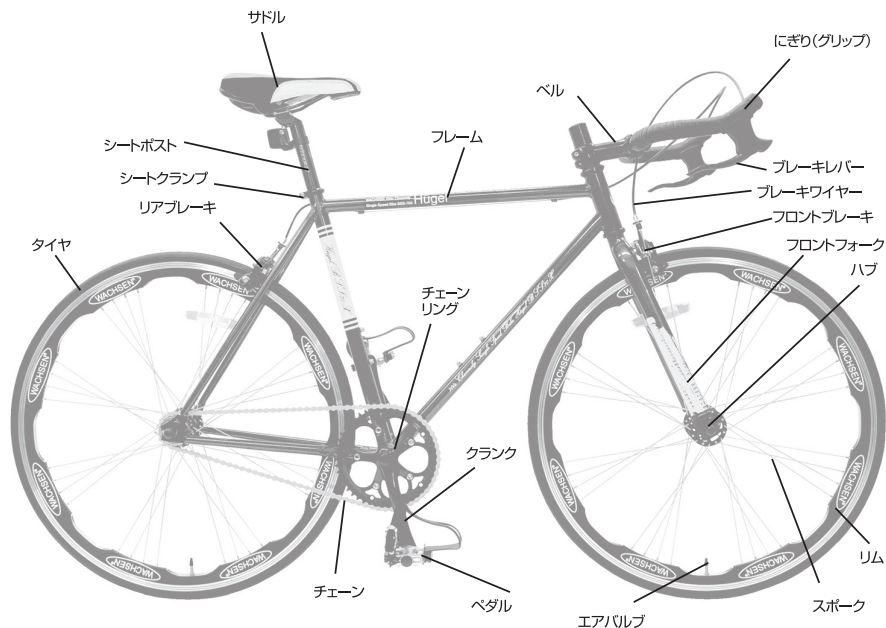
製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。
また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

各部名称



警告

ブレーキワイヤーの取り回しなど下記写真をご確認ください。誤った取り回しをすると、ブレーキなどに負荷がかかり、走行に影響が出たり転倒したりするおそれがあります。



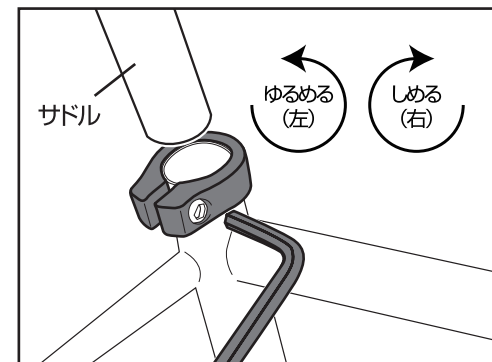
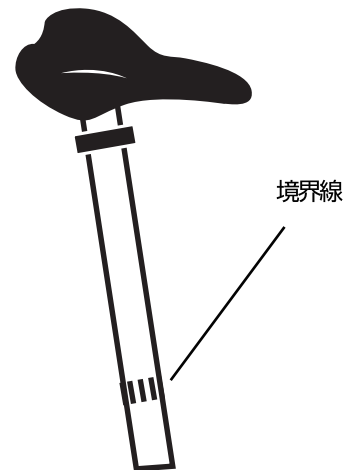
■セット内容

自転車本体、簡易工具、取扱説明書(保証書付)、専用組み立て説明書、白色LEDライト(電池別売り)、ロングワイヤー錠

サドルの差し込み、固定方法

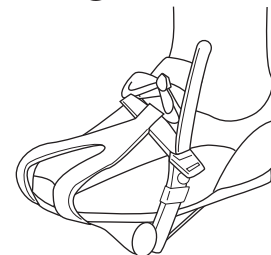
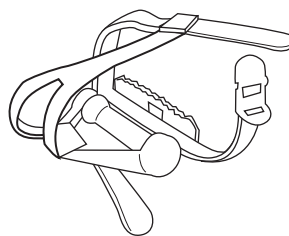
ご注意

サドル、ハンドルはしっかりと固定してください。
固定されないまま乗車されますと、事故の原因となります。
乗車前には必ずゆるみがないかどうか点検を行なってください。



境界線が見えないところまで差し込み、六角レンチでしめて固定します。
固定する際はしっかりとレバーをきつくしめてください。サドルを抜く場合は左に回してネジをゆるめてください。

トゥークリップのベルト固定及び調整



クリップ状の金具下部を押し開きローラーと歯状の間にベルトを通して金具下部の穴へ、ベルトを通して下さい。
次にクリップを押し開いてベルトの長さを調整してください。
つま先の深さの調整はペダル前部の3ヶ所の六角ボルトで調整できます。

警告 必ずお読みください

つま先をトゥークリップ先端までしっかりと差し込んでください。ペダリング時にペダルを踏み外して思わぬケガや事故のおそれがあります。
ベルトのしめ付けにご注意下さい。
不意な設置時に支障をきたし、思わぬケガや事故のおそれがあります。

ペダルの取り付け

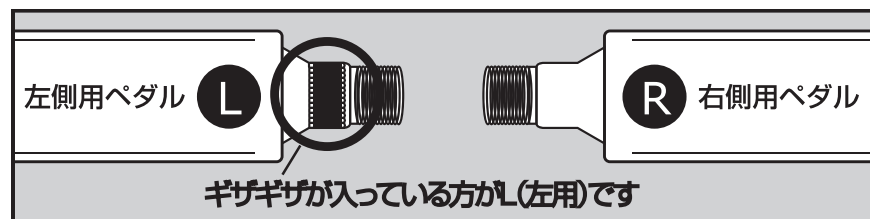
下記の注意点をお読みのうえ、取り付け作業を行なってください。

重要～取り付け時の注意点～

ペダルの取り付け方

- ①最初に手でペダルのネジをクランク（ペダルを取り付ける部分）のネジ穴に2～3回転程度ねじ込みます。
- ②まっすぐねじ込まれているのを確認してから、必ず工具を使用してしっかりと固定してください。固定が弱いと、破損、事故の原因となります。

- ペダルには右用、左用があります。左右を間違えると取り付けできません。



- 取り付けはクランクに対して垂直に行なってください。

⚠ しめつけ方向にご注意ください。

ペダルは左右でしめつけ方向（ネジの向き）が異なります。

右ペダル:時計回り
左ペダル:反時計回り

※しめつけ方向を間違えますと、クランクのネジ穴を破損します。
お客様の取り付けミスによる破損は保証対象外となります。

※ペダルイメージ

左側用ペダル
(Lマーク付き)



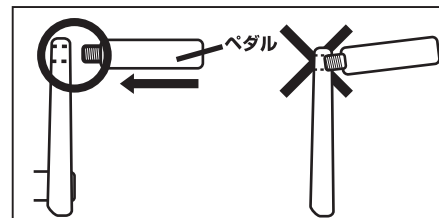
ハンドル方向(前面)

右側用ペダル
(Rマーク付き、チェーン側)



ハンドル方向(前面)

- 取り付けはクランクに対して垂直に行なってください。



取り付けの際は、クランクのネジ穴とペダルのネジが垂直になるようゆっくりとネジをしっかりしめてください。
万一、ネジが斜めに入ってしまうと、クランクのネジ穴が破損してペダルの取り付けができなくなります。
その際は修理が必要となります。弊社にて修理は可能ですが送料・修理代金等はすべてお客様のご負担となります。

ハンドルの組立方法

ハンドルを取り付ける際はブレーキワイヤー等が絡んでいないことを確認してください。

- ①ハンドルの固定部を図のように正面へ向けてください。
- ②正面から見て、図のように前輪タイヤのブレーキが前にくるようにしてください。
- ③ハンドル固定部、上部分の六角ネジのキャップを取り、付属の六角レンチで固定してください。
- ④ステム固定ネジ(2か所)をしっかりとめてください。
- ⑤固定カバー
- ⑥ハンドル
- ⑦

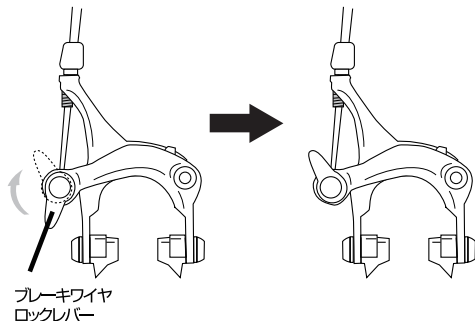
ハンドルの位置、角度を調整しハンドル固定カバーをはめ、しっかりと六角レンチで回して固定してください。

固定カバーをしめる際、図の順番に仮止めしていき、最後にすべてのネジをしっかりとめてください。

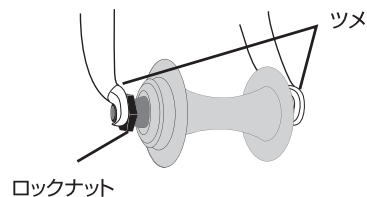
キャリパーブレーキの前輪タイヤの装着

本製品は前輪を外した状態で梱包されています。
取扱説明書の手順に従って組み立てを行ってください。

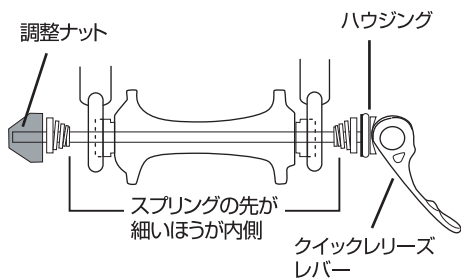
- ①カムレバーを起こしてブレーキワイヤーのロックを解除します。



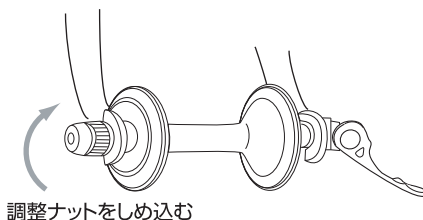
- ②フロントフォークの左右のツメを前輪のロックナットの外側部分に引っかけます。



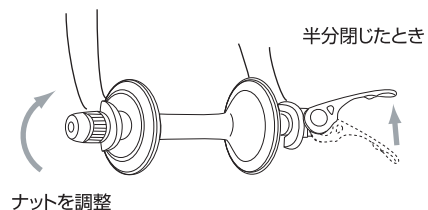
- ③下図のように付属のクイックリリースレバーを前輪に取り付けます。



- ④レバーを開いたままにして、調整ナットおよびハウジングがともにすきまがなくなるまで調整ナットをしめ込みます。



- ⑤レバーを半分閉じたときレバー操作が固くなり始めるように調整ナットを調整します。



- ⑥レバーを最後まで閉じ込んで固定します。レバーを閉じ込んだときに手のひらが多少痛くなる程度で、押し付ける力は160~200N(16~20kgf)になるように調整ナットを調整してください。

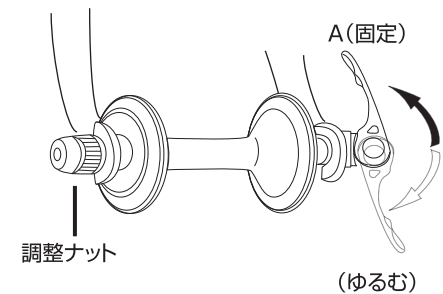
- ⑦車輪が確実に固定されているか確認してください。

- ⑧ブレーキのカムレバーを元へ戻し、ブレーキレバーを引いたときに正常に作動するか確認してください。



注意

レバーをAの位置まで操作したときに十分固定できることが重要です。もし、レバーが固すぎたり、ゆるすぎて固定が十分でない場合は危険ですから再調整してください。



注意

レバーは必ず前後輪とも乗車して左側になるようにしてください。



注意

レバーは閉じこんだときフロントホークに横から見てもほぼ平行にそわせてください。

クイックリリースレバー

